

観察会報告  
井川県民の森キノコ観察会  
三宅 隆



池ヶ谷さんの説明を聞く



タマゴタケ

10月3日 井川県民の森で、キノコの観察会をしました。ここでの前回のキノコの観察会は2008年で、実に13年ぶりです。現地集合も含めて14人の参加者があり、静岡木の子の会の池ヶ谷のり子さんを講師にお願いしました。

昼食を含めて、4時間ほど、森の中をキノコを求めて探し回り、キノコが見つかったら池ヶ谷先生に、種類や食用可かなどを教えてくださいました。

最後に、皆が集めたキノコをブルーシートの上に並べ、種類分けを行ないました。

その結果、ハラタケ目のタマゴタケ、チャナメツムタケ、ホコリタケ。イグチ目のヤマイグチ、ハナイグチ。ベニタケ目のサンゴハリタケ、アカモミタケなど全部で6目23科51種ものキノコが確認されました。

しかし以前に比べ、見つかるキノコが少なく感じられました。これは、繁茂していた下層植生の笹が、シカにより食べられて無くなっており、そのため土地が乾燥しキノコの繁殖が制限されたのではと考えられました。もとの植生に戻ることが熱望されます。それでも、食用可能なキノコは、大事に持ち帰り、おいしく頂きました。



キノコの判定



オリーブオイルで食べる